

きゅうまつざわけじゅうたく
北区 旧松澤家住宅



古民家情報

建築年代: 江戸時代後期
規模: 桁行9間・梁間5.5間
構造: 食違い四つ間取り
寄棟造り・茅葺き
北区指定有形文化財（建造物）

旧松澤家住宅は、^{こうか}弘化元年（1844）に建てられたと伝わる、^{うきま}北区浮間地域にあった古民家です。浮間地域は、荒川の河川改修以前はたびたび洪水にみまわれた場所であったため、1~2m程度土盛りした敷地（^{みづか}水塚）に建物を建て、主屋の屋根裏は洪水の際の避難場所としても使われました。^{はこむね}箱棟のついた屋根が特徴的な主屋は、食違い四つ間取りで、土間脇にウマヤが接続しています。屋根の軒部分には腕木に桁をのせた「せがい造り」が正面・両脇の3方向に廻っています。主屋より建築年代が古いと伝わる倉屋とともに、「赤羽自然観察公園」に移築復原されました。

ご利用案内・アクセス

開 9:30~16:30（7月1日~8月31日は18:00まで、通年開館） 料 なし

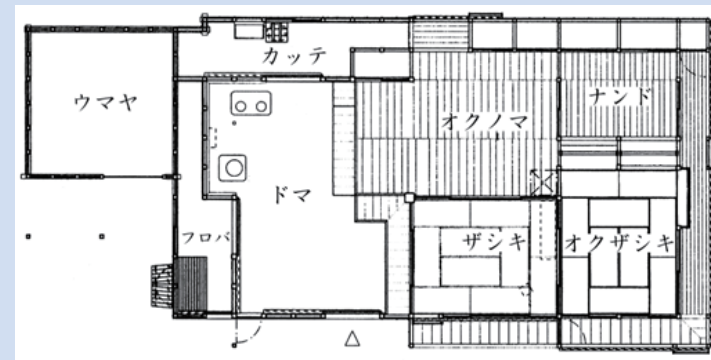
所 北区赤羽西 5-2-34 赤羽自然観察公園内

交 J R 埼京線・京浜東北線ほか「赤羽」駅下車徒歩 15 分

問 北区飛鳥山博物館事業係 Tel.03-3916-1133 Fax.03-3916-5900

その1! 間取り

見どころ
ポイント!



松澤家住宅は、正面向かって左側にドマ、右側に四つの部屋が配されています。オクザシキが半間ナンド側に入り込んでいることから、食違い四つ間取りとなっています。ドマの奥にはカマドが設けられており、さらに奥のカッチには「座り流し」があります。

オクザシキには床・床脇・付書院がしつらえられ、接客の場所としても使われました。

建物の正面左側にウマヤが配置されていますが、当初からのものではなく、江戸末期から明治初期頃に増築されたものです。

その2! 箱棟



旧松澤家住宅の棟は箱棟になっています。棟を板で箱状に囲み、その上に小さい瓦葺きの屋根を載せています。外からは見えませんが、主屋の屋根と箱棟は、棟から突き出るように伸びている棟束で固定されています。